

令和2年度

種子島西之表市

いけばな展



※写真は、市ALT(外国語指導助手)トリステン・カシオさんの作品です。

＊日時 / 令和2年 11月28日[土] 8:30 ~ 17:00
29日[日] 8:30 ~ 16:00

＊会場 / 種子島開発総合センター「鉄砲館」

＊主催 / 西之表市教育委員会 ＊協力 / フラワーショップきたる フルールみやぞの フラワーショップはなぶさ hanaya 西之表市花き振興会

✿ 出品者

中野 スエ子 (池坊すみれ会)

川村 洋子 (池坊すみれ会)

木村 征子 (池坊すみれ会)

倍 由美子 (池坊すみれ会)

上妻 和子

小濱 京子



「いけばな」と種子島

種子島におけるいけばなの歴史は、「羽生道潔」が寛政4年(1792年)鹿児島島の丸田尚澄に入門して花道を学び、文化6年(1809年)41歳の時、華道丸田流の指南免状を得たことに始まります。

道潔の孫「羽生慎翁」も、幼少から祖父や父の影響を受け華道を学びました。明治2年、43歳の時に京都へ游学し、池坊第42世家元専正氏に本格的に華道を学び、

池坊正流を初めて種子島に伝えました。

その後も華道一筋に専念し、明治8年に専正氏より生花伝法皆伝立花数ヶ条の伝授を受けると、梅陰亭月窓と号し、更に努力を重ねました。

明治12年、薩摩・大隅会頭職を務めると、明治15年には大日本總會頭職となり、明治22年には池坊東京出張所の初代所長を務めるなど、門弟の中心人物となり最前線で「華道池坊」の普及に尽力しました。

慎翁の生家である月窓亭には、その功績が称えられ、池坊第45世家元専正氏から記念碑が贈られています。

いけばな体験

11月29日(日)

10:00 ~ 12:00

先着60名

体験無料



誰でも気軽に
チャレンジできます
できあがった作品は
「お持ち帰り」できます